

太りすぎ・痩せすぎを防ぐ和牛の栄養管理

背景

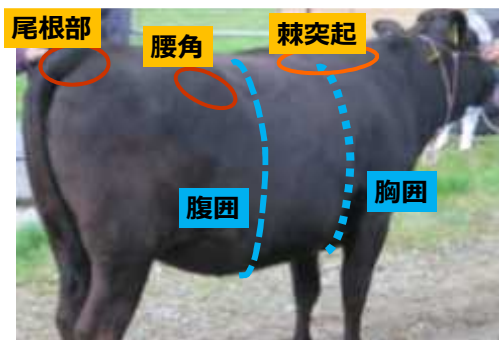
繁殖めす牛の太りすぎ（過肥）や痩せすぎ（削瘦）は繁殖生理上問題であり、客観的な評価に基づく栄養管理が必要である。

成果



1 測定と触診で栄養チェック

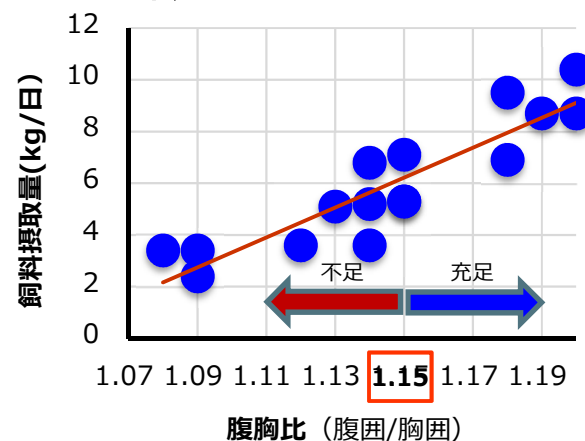
胸囲と腹囲の測定と3か所の触診で栄養状態をチェック



青点線：飼料摂取量確認のための測定部位
赤丸：過肥・削瘦傾向確認のための触診部位

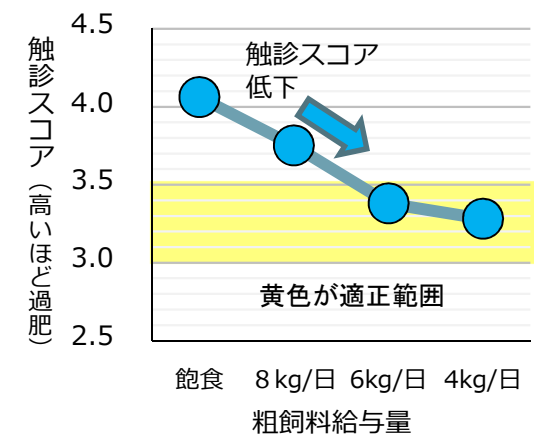
2 腹胸比で摂取量確認

腹胸比が1.15以下なら飼料摂取量が不足している



3 触診で過肥・削瘦傾向の確認

触診スコア（脂肪の付き具合）が適正範囲外の時は給与量の改善が必要



期待される効果

黒毛和種繁殖めす牛の栄養状態をチェックすることで繁殖成績が向上し良い子牛が安定的に生産できる。